

問1 1970年代の琵琶湖では、家庭からの生活排水に含まれるリンなどの栄養塩類が増加し、プランクトンが異常発生する現象が深刻な問題となりました。この現象の名称と、その対策として滋賀県が全国に先駆けて制定した条例の目的を組み合わせたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2026年 兵庫公立入試 類似）

1. 赤潮が発生する原因となる富栄養化を防ぐため、リンを含む合成洗剤の使用禁止などを定めた。
2. 酸性雨による森林被害を防ぐため、周辺の工場に対して硫酸化物の排出規制を強化した。
3. 地球温暖化を抑制するため、二酸化炭素の排出量を削減するための森林保護を義務づけた。
4. 土壌汚染による農作物への影響を抑えるため、化学肥料や農薬の使用を全面的に禁止した。

問2 京都市の市街地に見られる、東西と南北の道路が直角に交わるように規則正しく配置された街並みの形態を何と言いますか。

（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 碁盤目状の街路
2. 放射状の街路
3. 迷路状の街路
4. 同心円状の街路

問3 兵庫県の工業について、瀬戸内海の臨海部と、綿織物などの伝統が残る内陸部や諸地域の産業構造を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫公立入試 類似）

1. 臨海部では石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達する一方、内陸部では地域に根ざした地場産業が受け継がれている。
2. 内陸部に大規模な石油精製施設が集中する一方、臨海部ではタオルなどのブランド化された繊維工業が中心となっている。
3. 県内全域で先端技術産業への転換が進んだため、伝統的な地場産業や重化学工業の製造品出荷額は大幅に減少している。
4. 播磨や阪神の臨海部では伝統的工芸品の生産が中心であり、但馬や丹波の内陸部で重化学工業が発達している。

問4 近畿地方の観光について、統計資料によると、奈良県の外国人宿泊者数は二十三年の十六万五千人から、二十八年には四十三万九千人へと変化しています。この五年間における外国人宿泊者数の推移と増加率に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 五年間で宿泊者数は二倍を超えており、二十三年を基準とした場合の増加率は百五十パーセントを上回っている。
2. 宿泊者数は微増にとどまっておりますが、二十三年と比較した増加率は五十パーセント未満である。
3. 二十三年と比較して宿泊者数は減少に転じており、観光産業が衰退していることを示している。
4. 宿泊者数の実数は増加しているものの、増加率で見ると近畿地方の他府県と比較して最も低い水準にある。

問5 近畿地方の産業構造において、兵庫県と京都府の特色を比較した説明として最も適切なものはどれですか。統計上、一方の府県は重化学工業による製造業出荷額が大きく、農業ではブランド畜産が盛んです。もう一方は、西陣織などの地場産業に加え、観光資源を背景としたサービス業に強みを持っています。（2026年 兵庫公立入試 類似）

1. 京都府は宿泊・飲食サービス業の売上高の割合が高く、兵庫県は製造業出荷額や畜産の産出額が大きい
2. 兵庫県は伝統的な地場産業と観光に伴う宿泊業が中心であり、京都府は重化学工業による製造業出荷額が極めて大きい
3. 京都府と兵庫県はともに農業産出額において米が占める割合が最も高く、製造業の出荷額を上回る主要産業となっている
4. 兵庫県は内陸部での先端技術産業と観光業が主であり、京都府は臨海部での大規模な重化学工業が産業の柱となっている

問6 京都府は建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で第1位ですが、このように多くの文化遺産が現代まで集中的に残されている歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. 平安京遷都から明治時代初期まで長きにわたり都が置かれ、時の権力者や宗教勢力によって優れた建造物が集中的に造られたため。
2. 江戸時代に幕府が置かれたことで、全国の諸大名が競って豪華な城郭や武家屋敷を京都に建設したため。
3. 明治維新以降、欧米の文化をいち早く取り入れるために、日本中の歴史的建造物を京都に移築して保護する政策がとられたため。
4. 近畿地方の中で最も面積が広く、平野部が多いために、多くの歴史的な集落や寺社を建立する土地の余裕があったため。

問7 兵庫県の産業や社会指標の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。
2. 広大な農地を活かした農業産出額が工業製品出荷額を上回っており、農村部が多いため住宅一戸建率が高い。
3. 重要文化財の指定件数が全国で最も少ないため、観光業よりも重化学工業への依存度が極端に高い。
4. 県内全域で宅地造成が進んでいるため、住宅一戸建率が近畿地方の府県の中で最も高い数値を示している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 赤潮が発生する原因となる富栄養化を防ぐため、リンを含む合成洗剤の使用禁止などを定めた。	1970年代の琵琶湖では、生活排水に含まれる栄養塩類が湖に蓄積する「富栄養化」が進み、プランクトンが異常発生して水面が赤茶色になる「赤潮」が発生しました。これを受け、滋賀県は1979年に「滋賀県琵琶湖を富栄養化から守る条例（琵琶湖条例）」を制定しました。この条例では、赤潮の大きな要因であったリンを含む合成洗剤の使用禁止や販売自粛などが盛り込まれ、住民による「せっけん運動」という環境保全活動が広がるきっかけとなりました。
問2	答え 1 碁盤目状の街路	794年に造営された平安京の都市計画に由来する景観です。中国の唐の都である長安をモデルとして、道路が格子状に整然と区画されました。現在の京都市中心部においても、この規則正しい街路が維持されており、歴史的な都市構造を象徴する特徴となっています。
問3	答え 1 臨海部では石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達する一方、内陸部では地域に根ざした地場産業が受け継がれている。	兵庫県の産業構造は地域ごとに特色があります。阪神・播磨などの臨海部では、大型船の入港に適した立地を活かして石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達しました。これに対し、内陸部やその他の地域では、江戸時代からの綿織物の伝統を汲む繊維工業などの地場産業が今もなお重要な役割を果たしています。
問4	答え 1 五年間で宿泊者数は二倍を超えており、二十三年を基準とした場合の増加率は百五十パーセントを上回っている。	奈良県の外国人宿泊者数は、五年間で約二・六六倍（四十三万九千÷十六万五千）に急増しています。これを増加率（ $\frac{\text{今年の数}-\text{基準年の数}}{\text{基準年の数}} \times 100$ ）で計算すると、約百六十六パーセントの増加となります。したがって、宿泊者数は二倍を超え、増加率も百五十パーセントを上回っているという記述が正確です。近畿地方では大阪府や京都府だけでなく、奈良県でもこうした高い増加率が記録されています。
問5	答え 1 京都府は宿泊・飲食サービス業の売上高の割合が高く、兵庫県は製造業出荷額や畜産業の産出額が大きい	京都府は京都市を中心に多くの歴史的建造物があり、国内外から多くの観光客が訪れるため、宿泊・飲食サービス業の売上高が他の府県に比べて突出しているのが特徴です。一方、兵庫県は阪神工業地帯や播磨工業地域を含み、鉄鋼や造船といった重化学工業が発達しているため、製造業出荷額が大きくなります。また、兵庫県は「但馬牛」に代表されるブランド畜産が盛んであり、農業産出額に占める畜産の割合が高いことも重要な特色です。
問6	答え 1 平安京遷都から明治時代初期まで長きにわたり都が置かれ、時の権力者や宗教勢力によって優れた建造物が集中的に造られたため。	京都は長期間にわたって日本の首都として機能していたため、各時代の最高水準の技術を用いた寺社仏閣や宮殿などの建造物が蓄積されました。また、それらが地域の人々や公的な保護によって今日まで守り伝えられてきた結果、全国で最も多くの指定建造物を有するに至っています。面積規模（全国31位）に対してこれほど多くの文化財が集中しているのは、都としての歴史的機能に由来します。
問7	答え 1 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。	兵庫県は、南部を中心に工業化と都市化が非常に進んでいる県です。工業面では瀬戸内海沿岸を中心に大規模な工場が集積し、高い出荷額を誇ります。居住環境については、利便性の高い都市部に人口が集中し、効率的な土地利用として集合住宅が選ばれることが多いため、統計上、住宅一戸建率は低くなります。また、歴史的建造物も多く、文化財の多さと工業の発展が共存している点も大きな特徴です。